



TBGニュース

一般社団法人

日本ターゲット・バードゴルフ協会

第6号

2016年7月15日

広報委員会

第2回定時総会開催 —新しいTBGの時代に向けて—

(一社)日本TBG協会の第2回定時総会が、6月2日(木)、役員16名・正会員15都府県出席のもと、東京品川の日立金属和彊館で開催されました。

3月29日の臨時総会で先行審議した議題を含め、下記議案を同日開催の理事会審議を経て定時総会で決議、新しいTBGの時代に向けた活動を推進することとなりました。

議事概要 【議案書・資料及び議事録は正会員に配布しています】

1. 審議事項 以下5議案につき、逐次資料説明・審議・採決が行われ、全員異議なく承認。
 - ①第2期(平成27年度)事業報告
 - ②第2期(平成27年度)正味財産増減計算書及び貸借対照表
 - ③第3期(平成28年度)事業計画
 - ④第3期(平成28年度)収支予算
 - ⑤平成28～29年度の役員選任
2. 報告事項
 - ①日本協会主催TBG大会：「第14回全日本TBG選手権大会」「第2回東日本TBG大会」
 - ②日本協会の取り組み課題について：会員規模別会費制を推進する。
3. その他
 - ①日本協会の公認大会要綱
 - ②日本協会競技規則改定
 - ③新開発ボール【詳細は別項参照】

(株)ウインストンの登録商標 【取消審決】が出ました

平成28年6月9日、【(株)ウインストンの登録商標「ゴルフの興行の企画・運営又は開催、運動施設の提供」を取り消す】との【審決】が特許庁から出されました。

【TBG協会】が用具業者の【許諾】がないと、【ターゲット・バードゴルフ】【TBG】という言葉も使えない、という登録商標の存在はおかしいと、平成27年4月20日当協会はその登録取消を特許庁に請求しました。

本商標登録取消審判事件は、双方から審判請求書・答弁書・弁駁書などが提出され、この種事件では異例の口頭陳述まで行われた結果、上記の【取消審決】となりました。

公認されたスポーツ団体である日本TBG協会及びその会員が、自由にその名称を使えるのは当然のことですが、今回これまで存在した障害を取り除くことができました。

用具業者である(株)ウインストンと当協会の関係が、これにより正常化へ進むことが期待されます。

新開発のボールができました

—皆様の愛用を—

—昨年より開発中のボールが、6月2日の定時総会で披露され、本年秋の日本協会主催の大会から使用されることになりました。



(一社)日本TBG協会発足時、全日本TBG協会を結成した分派活動中心者が、(株)ウインストンと組んで、「TBG用ボールを入手したいなら私たちの方どうぞ」と誘いをかけ、各県協会の皆様が大変迷惑したことは記憶に新しいところです。

当協会としてはTBG用ボール独占による弊害を克服すべく、協力して頂ける業者の選定を進め、3都県の業者との接触の中から、富山県TBG協会会員の谷井武仁氏が取り組んで下さることになり、2年余の歳月と幾多の技術的な困難を乗り越え、今般発表の新開発ボールの誕生に繋がりました。

この新開発ボールの特色は、別項(4頁)の開発構想にあるように、TBG発案者野嶋孝重氏の【TBG発案時のイメージ】を尊重して開発し、ある程度近づいたところにあると言えます。

谷井氏は、「今後とも更なる改良に向けて意欲的に取り組むので、TBG愛好者の皆様の愛用とご支援をお願いします」と希望しています。

【4頁の関連記事もご覧ください】

北から南から

〔青森県〕

青森県 TBG 協会では、地域を超えた交流により生涯スポーツの振興と交流と親睦を図るため、下記の交流大会を実施しております。
○県大会を7・8・9・10月の4回開催。○秋田県大館市（大館北協会）とは、毎年1・2・3・5・6・8月の6回開催。○県内では野辺地町協会と3回、浪岡協会とは年間を通して冬季練習や交流大会を実施しております。



〔茨城県〕

①このたび茨城県 TBG 連合会に新たに県西地区の3団体（真壁、大和、協和）約100名の会員が7月を以って入会されることになりました。これにより当連合会は10団体約400名規模となりますが、今後とも意思の疎通を密にして、分け隔てなく楽しい仲間作りを目標に活動をしていきます。

②日立市 TBG 連盟は、市内5グループ会員約300名及びその関係機関を統括する組織ですが、5月28日（土）に市体育協会と共催し第48回市民大会を河原子北浜 TBG 場に於いて、地元有線テレビ放映のもと約120名の選手が参加して盛大に行われました。なお、同時に初心者教室も実施しました。

〔富山県〕

平成27年度定期総会を4月27日（日）立山町総合公園会議室で開催。50名出席で決算報告と28年度事業計画、予算を審議。5月8日（日）には県民スポレク祭が富山県総合体育センターの施設で開催。小学生から高齢者まで幅広く100名余りが参加。この体験会は TBG の普及に一役買ったと確信している。



〔熊本県〕 全国の皆様に御礼申し上げます。

熊本地震発生時には、全国 TBG 仲間の方々から心配、励まし、手助けを戴きました。心から感謝申し上げます。熊本県の日常回復にはまだ時間がかかりそうです。阿蘇・小国・八代市の TBG 協会の会員は負傷者もなく無事で、被害も少ないとの事で安堵しております。奇しくも4月14日（木）は第7回熊本県 TBG 近県交流大会を開催していました。今年はいよいよこれ迄の一泊二日の阿蘇での会を八代市に移して、日帰りの会に変更して行っていました。長崎県を除く6県120名が参加し13時30分に終了し散会、会員が帰路につきました。その夜21時25分に熊本地震の第一震が起きました。その後の本震、余震の日々を考

えますと、今回日帰りにした事の何とも云えぬ因縁を思い、参加した会員の方々にも大きな迷惑を掛けずに済ました事に先ずは安堵の気持ちで一杯です。地震の後も降り続く雨に悩まされていますが、今は屋内や家の周りの修復に努め一日も早く TBG が出来るようになることを願っています。皆様からの数々の心遣いを有難うございました。



〔大分県〕

恒例の大分県すこやかスポーツ祭が5月、県内各市町村で開催された。TBG 大会は14日、近県7団体に参加頂き総勢80名が日田市陸上競技場で好天のもと、日頃の練習の成果を競いあった。高齢化による参加者減の中、来年も元気な再会を祈念し閉会しました。



都道府県協会紹介

宮崎県 T B G 協会

会長：堀之内千秋 設立：平成 18 年 8 月

傘下 5 支部 会員数：100 名

宮崎県では、過去に全国福祉祭ねりんピック TBG えびの交流大会・全国スポレク大会・全日本 TBG 選手権大会など大きな大会を三度経験しており、全国の仲間とも大いに交流を深めております。

県内での大きな大会は、県民総合スポーツ祭・宮崎ねりんピックの TBG 交流大会があり、その他、毎年年度末に 5 つの支部が交代で一泊二日の交流大会を実施しております。競技も盛り上がりますが、夜の交流会は殊の外盛り上がり、親睦には大きな貢献をしています。

今後の課題としては競技人口の拡大に会員一同で勤めていく所存です。



東京都 T B G 協会

(昭島市 TBG 協会)

都 TBG 協会傘下には 29 協会がありますが、今回はその一つで、今年で 20 周年を迎えた昭島市 TBG 協会を紹介します。

会長：甲原正則 設立：平成 9 年 7 月

会員数：47 名 (男 31 名、女 16 名)

練習場所：①宮沢広場 ②くじら運動公園

③エコパーク ④陸上競技場

活動：通常練習・普及活動週 2 回、月例会毎月第一火曜日、年間活動として初打ち会に始まり、夏・冬昭島杯や日帰り研修、一泊研修を行い、昭島市民大会、地域交流大会等を開催、地域の親睦・普及活動に努めています。発足時は TBG 好きな 7,8 人の愛好者の会でしたが、ニュースポーツ教室がきっかけで、会場確保や用具の手造り、特にアドバンテージの作成に苦労しながら 20 周年を迎えることが出来ました。今後は仲間

と楽しく続けられる TBG を目指し、一層の技術向上と認知度をあげる活動を続けていきます。



前ページ [北から南から] つづき

〔長崎県〕

県協会加入の協会・クラブは (佐世保市、佐世保市東、大村市、川棚町、時津町、長与町、長崎市) の 7 団体です。練習は各地区で週 3 回と月例会を実施。又県下交流大会を年 5 回、他に県ねりんピック、レクリエーション祭を実施し毎回 120 名~130 名が参加し交流を深めています。年度末には公認指導者 (現在 62 名) の研修会を開催しています。

(会員紹介) 山岡英司会員は上記交流大会

で殆んど優勝 (90%) し、会員の目標になっております。(全日本岡山大会で 2 人組戦 3 位)



TOPICS

新しいボールで考えたこと —新開発ボールの構想—

- ◎ 野嶋孝重氏の TBG 発案時のイメージ 【日本 TBG 協会 20 年のあゆみ 182 頁】
アポロ 11 号の月面着陸にヒントを得、ふわりと軟着陸するボールは、飛距離が小さいので**狭いスペースでもでき**、球速が遅いのでそれほど危険がないと「**制動翼付ゴルフボール**」を考案した、と TBG 考案者の野嶋孝重氏は TBG の始まりを振り返っている。
- ◎ TBG の特徴を体現するボール 【公認指導者用テキスト「TARGET BIRDGOLF」7 頁】
TBG の特徴はシャトルボールの使用により、①ボールの滞空時間が長く、スピードも出ない。②羽根の影響によりボールが回転せず、方向が安定する。③飛距離が少ないので、**狭い場所でプレーできる**。④羽根は飛距離を抑え、18m から 22m 位飛ぶのが標準と言われている。
- ◎ ボールの飛距離の伸長による TBG 競技の変化
TBG30 年の歴史でボールの飛距離は、用具の面でのクラブ・ボールの改良及びスイング技術の改善により標準飛距離が伸び、その結果考案当初の特徴に少しずつ変化を齎している。
- ①「18m から 22m 位飛ぶのが標準」という標準が実態とずれつつある。
②「飛距離が少ないので、**狭い場所でプレーできる**」という特徴が変化しつつある。
③ゴルフ・野球・サッカーなど通常のスポーツで行われている「**用具による飛距離の抑制**」を TBG 関係者が真剣に議論してこなかったため、業者を含めて飛距離の制約に関心が薄い。
- ◎ TBG の原点に戻るボールの開発構想(設計及び製造販売構想)
- ① TBG 発案時の「いつでも、どこでも、だれでも、**狭い場所でも楽しめるボール**」を作る。
② 空気抵抗を大きく、ふわりと落下し、ぴたりと止まりやすいボールをねらう。(OB の減少)
③ 既製品との違いを明確にするため、実用新案登録及び意匠登録等知的所有権を取得する。
④ 製造販売を通じて、日本 TBG 協会及び都道府県 TBG 協会の財政に寄与することを考える。

【一口メモ；質問にお答えします】

質問：新しいボールの開発では、知的所有権を取ることができたのか？

答え：鈴木前理事長の設計構想で谷井武仁氏が、【TBG 用ボール】の意匠登録(平成 27 年 8 月 11 日登録第 1533301 号)及び実用新案登録(平成 27 年 8 月 24 日登録第 3199666 号)を取得しています。

質問：その他の知的所有権の問題は？

答え：(株) ウィンストンの登録商標権の【取消審決】が出ました(1 頁参照)が、この事件でウィンストンが、全日本 TBG 協会と関東甲信越 TBG 協議会に対して「登録商標を使うことを許諾した覚書」と「そのプログラム」を書証として、特許庁に提出しました。

【TBG 協会が業者の「許諾」でプログラムを作成した】ことは異常ですが、当協会は今般その障害を克服、一般愛好者も TBG を自由に楽しむ権利を守ることができました。

【編集後記】

◎北の青森から南の熊本・宮崎まで、全国各地で展開されている TBG 愛好者の活動を、「TBG ニュース」第 6 号に載せてお届けします。

◎新開発のボールは鈴木前理事長と山岸理事の危機感から、谷井武仁氏と連携して公式に使用されるまで来ましたが、その間のご苦労は大変なものだったと伺っています。

◎今号ではそのご苦労に応え、全国の愛好者に愛用し、育てて頂けるよう 1 面と 4 面で特集しました。じっくりお読み下さい。

◎今号も各市区町村協会宛、地区協会会員の全員に届けて頂けますよう送ります。

◎今号の編集・印刷にも東京都 TBG 協会の鈴木富保・秋山光博・高橋正章の各氏にお手伝い頂きました。

【広報委員会】

委員長 岡崎 一夫
委員 山北 徹
大和田明徳

【一般社団法人日本 TBG 協会】

【日本協会ニュースに関する連絡先及び日本協会に加盟する組織の無い地域で会員として入会する場合の連絡先等としてご利用下さい】

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 3-11-11-101
TEL:0422-30-5290 FAX:0422-30-5291
<http://japantbg.web.fc2.com/>
e-mail:qqrh7pp9k@solid.ocn.ne.jp